

ENOKI

え の き

弟子入り体験

江戸川小学校

5年生

本校が児童の体力向上と並んで、キャリア教育に長年力を注いでいることを知っている方は少ないかも知れませんが、キャリア教育への取組は平成10年代から始まり、平成18年には当時の文部科学大臣より表彰を受けています。

キャリア教育というのは、児童が自分の生き方や進路選択、商業選択につながる力を育む学習で、中学校で行われている「職場体験」はご存知の方も多いと思います。

本校で実施している「弟子入り体験」は、低学年の頃から地域の学習の重ねたうえ



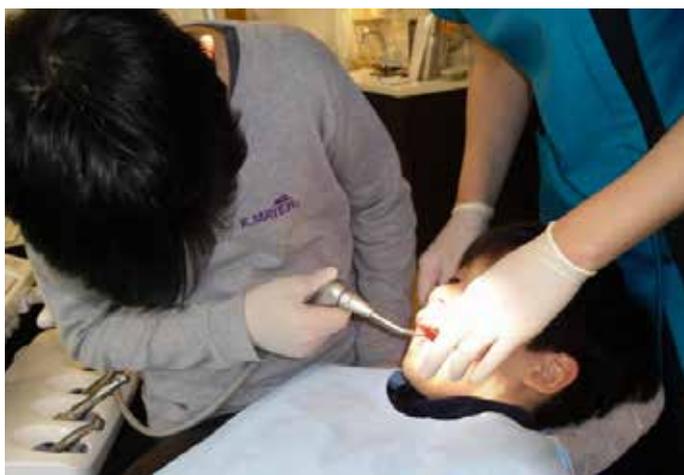
で、地域の施設や企業、店舗に勤めている人との関わりや、実際の仕事内容を経験させていただくことで、地域の様子だけではなく「仕事」にたいする興味や関心も高めていけることをねらっています。

この学習は、本校のスクールコーディネーターや地域協働学校運営協議委員の方々が地元の商店街や企業等に児童の受け入れを働きかけてくださっています。体験は4日間に渡って行いますが、児童は同時に4〜5の職場へ分散するので、その送迎も地域の方々が担ってくださっています。また、各職場の方々からは仕事内



容を丁寧に教えていただいたり、社会人としての心構えや勤労の意味を教えてくださいたいと思っています。

それらの経験をPCを活用してプレゼンスライドにまとめ、お世話になった職場の方々や地域の方々を招いて発表会も毎年行っています。



※今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため休校措置が取られたので発表会は中止になりました。

多くの方々に支えられ、見守られながら長年取り組んでいる「弟子入り体験」です。

「どきんずんからはじめよう！」 牛込仲之小学校

地域協働学校となつて7年、たくさんの保護者・地域の皆様が、子どもたちの成長に関わつてくださっています。そこで、今度は自分たちが地域のためにできることをしよう、6年生が立ち上がりました。「自分の育つた町を見つめ、仲間とできることを探し、多くの人との関わりの中で、地域のために取り組む。そして・・・自分のよさを見つめる」ことを目標に活動をスタートしました。

子どもたちは、○お店の手伝い○荷物運びなどのお助け○小さい子やお年寄りを笑顔にする取組○地域の人同士をつなげる活動○ごみ拾い○安全な町づくりなどのグループに分かれ、自分たちにできることを考えました。

荷物運びなどのお助けグループは、地域のスーパーの出口で荷物を抱えた人を待ち、「家まで運びますよ。」と声をかけることから始めました。しかし、皆さん遠慮して、なかなか思いどおりには進みません。そこで、お店を変えてみたり、声のかけ方を工夫したりしながら、運ばせていただく機会が少しずつ増えていきました。運んでいる間、黙っているのも気まずいと気づき、話題を考えて楽しく会話しながらお届けする試みも行いました。すると、荷物を運ばせてくださった方から、あたたかいお礼の言葉や感

謝のお手紙をいただき、子どもたちの笑顔も輝きました。

他のグループでも同様の成果が多く得られ、「人に何かすると喜んでくれることが分かりました」「感謝の言葉をいただいて、また頑張りたいと思いました」などの感想が聞かれました。人の役に立つことで、自己肯定感や

自己有用感を感じ、もっと地域のために何かをしたいという意欲につながつたようです。

ご協力くださった地域の皆様に心より感謝いたします。また、この活動は、地域協働学校として育てたい「地域を愛し、地域に貢献する子ども」の姿を具現化する実践として、今後も続けていきたいと思ひます。



夏目漱石先生と 早稲田南町の山房 ①



漱石日記(明治四十四年六月十四日)

昨夕、紀尾井町を散歩、帰りに牛込見附迄来て西の空を見ると、どす黒い雲が一面に拡がって稲妻がさす。

手を出してみると雨が一、二滴あたった。神楽坂まで来ると人が駆けだす。植木屋露店悉く荷を終いかける。

寺町で早稲田帰りの俵に乗る。

俵を下して煙草をのんでいた。やがて煙草を仕舞って

「じつです。参りましようか」

と言いつかり

「弁天町まで幾らか」と言いつつ
「十二錢遣って下さう」と言いつつ。
乗るとき「橋の上だ」と言いつつたら
「夏目さんでしたな」と言いつつ。

うちへ行く坂のところから降りだす。家に這入ると凄まじい雨音がしだした。

さながら、風俗画を観るような一文は、夏目漱石先生が明治四十年九月に本郷の西片町の借家から引き移って来られてから四年目の初夏のこと、早稲田南町七番地の借家(旧漱石山房、現在は漱石公園と都営住宅が建てられてあります)に夕刻の御散歩から帰宅される情景を日記に書き残されたものです。先生は四十五才でした。

御夫妻がお揃いで神楽坂辺り迄の御散歩には、ちよくちよくお出掛けになったように伺っておりましたが、先生お一人の場合には牛込柳町から薬王寺、荒木町、四谷見附、喰違見附、紀尾井町を経て麴町を通り、市ヶ谷見附に出て、外堀の内側を歩き、牛込見附より神楽坂を上って、寺町、矢来町、榎町、弁天町、早稲田南町の順路で歩かれたという(じつ)でございます。

それに致しましても可成りの道程となる筈でありますから、先生は相当な足達者であられたと考えます。

巻頭、先生の日記の文中「乗るとき橋の上だと言つたら」とありますが、その橋というのは昭和の初め頃までは当時の俵の姿で在ったようで、頑固な石造りの長さも幅も約三メートル程の小さいものでございませ

した。「べんてんはし」と、平仮名で彫られてありました。

宗参寺寺領の弁財天御堂の裏側に添って流れてきた掘の深いドブ川は、現在清水建設の建設作業が進行中の広い西側を流れていたもので、現在の十字路の上に架かっていたのです。その後ドブ川は地下に暗渠として埋設されたので、只今のように早稲田通りへ通り抜けられる小道に変わりました。

また「うちへ行く坂のところから降りだす」と記されてある坂とは外苑東通りの牛込保健所の前側、中山ビルと清水建設の工事中の敷地の間の道路を入りますと、旧石橋(現左の十字路)までは短い下り坂で十字路を過ぎると緩やかな登り坂となつているのは昔も今も変わりません。

この坂道は、現在早稲田小学校と牛込第二中学校の生徒達の通学路となっておりますが、昭和三年頃小学三年生であった私は朝登校時に寝坊して遅刻しそうになった時など、息せききって馳せ登ったものでした。

坂を登りきる手前の左側で現在斉藤カメラ店のある辺に、その頃でも、もう珍しいものとなつてきていた木村さんという人力車屋がありました。

俵は五台程用意されていて、濃紺の腹掛けと股引きをキッチリ着込み地下足袋を履いた俵夫達の客待ち姿もよく見かけたものです。

初夏の夕方、漱石先生が御散歩で紀尾

井町を廻つての帰途の道すがら、夕立雨が迫ってきたので寺町から拾われた早稲田帰りの俵とは明治四十四年当時の木村さんの持ち俵の中の一つであったのでしよう。

私の従兄、磯崎三四二氏の談によりますと、先生は門前の木村さんの俵を自転車並に利用されておられたということでした。

現在の斉藤カメラ店の真向いの辺に漱石山房の門がありました。塀に添って少し坂を下った処に勝手口などに通ずるための潜戸が設けられてあつたと思います。

昭和三年頃には誰方が御住いになつていたか存じませんが、質素な門囲いの内は御影石の石畳みが続き、植込みの八つ手の葉越しに見える玄関のタテシタの引き戸は何時通りすがって見てもヒソソリと閉まっていたようでした。

漱石先生は此の貸家は敷地が広く部屋数も七間と大家族向きで、それでいて家賃が月額三十五円と格安であることと、何よりも喜久井町の御生家に程近いことなどが御気に入られて本郷の西片町から引き移ってくる決意をされたのださうです。(次号へ)

平成三年三月、漱石山房に夏目漱石の胸像が建立されました。

本文は山中英治氏(故・榎町在住)が建立記念に執筆されたものです。

スポーツ交流

ユニカールと輪なげ

ユニカールはカーペット上で、ストーンを滑らすように投げ、円形の目標地点により近づけることを競うゲームです。

両チームがそれぞれ3個のストーンを目標地点に向かって交互に滑らせて相手のチームのストーンを弾き飛ばし、自分のストーンを目標に近づけます。初めての方でも気軽にできます。

日時

- ① 5月17日(日)
- ② 6月7日(日)
- ③ 6月21日(日)
- ④ 7月12日(日)
- ⑤ 7月19日(日)
- ⑥ 8月2日(日)
- ①～⑥ 10時～12時



会場

榎町地域センター
4階多目的ホール

*当日、会場にて参加を受け付けます。

*右記日程のなか、中止となる日時がある場合があります。ご了承ください。

問合せ 黒川 孔晴

TEL 03(32268)1777

主催 わせだスポーツ・文化協議会

地域コミュニティ事業 助成について

新宿区では地域コミュニティの活性化、絆づくりに向けた活動について、費用助成をします。

○助成率：4分の3 ○限度額：10万円

○申請受付期間

第1回(終了) 令和2年3月5日(木)～

4月10日(金)

第2回 令和2年5月1日(金)～5月29日(金)

第3回 令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

○対象となる団体

町会・自治会、地区町会連合会、地区協議会、当該事業の実行委員会、NPO・ボランティア団体等

○対象事業

- ① 地域全体の課題解決に資する事業
- ② 安全安心なまちづくりに資する事業
- ③ 地域交流の促進に資する事業

※対象とならない事業

・官民問わず、何らかの助成を受けている
又は申請中の事業

・政治、宗教の活動を含む事業

・営利を目的とする事業

・事業対象が会員など、特定の者に限られる事業等

問合せ先

榎町特別出張所 新宿区早稲田町85番地

電話 03-3202-2461

FAX 03-3202-2476

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

32

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

*令和元年度 区高連 秋季高齢者福祉大会

令和元年11月14日(木)新宿文化センター大ホールにおいて開催され、新宿区の67組のクラブ、団体が参加し、日頃の練習成果を披露して、終日演芸を楽しみました。

榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました(出演順)

○合唱の部において、弁天町和老クラブが、曲目「春の馬車が来る」で第3位に入賞いたしました。おめでとうございます。
フォーダンス ・原あゆみ会。

合唱・第一友鶴会、薬王寺長寿会、原一わらく会、西鶴クラブ、早稲田長寿会、早稲田永楽会。以上

*第28回 新宿区高連 輪投げ大会

令和元年12月2日(月)コスミックセンター体育室で開催されました。榎地区からの参加チームは9チームで、早南クラブが283点で第3位に入賞しました。
おめでとうございます。

他の榎地区の参加チームは次のとおりです(成績順)

・榎町友の会、早稲田長寿会、薬王寺長寿会、早稲田永楽会、原一わらく会、山吹会、あかぎ友の会、柳町すみれ会。

*第63回「将棋大会」の成績

令和2年2月2日(日)に開催された第63回 将棋大会において、榎地区の方が上位に入賞されました。(敬称略) おめでとうございます。

・Aクラス 第三位 鈴木 理 七段 柳町すみれ会

*第63回「囲碁大会」の成績

令和2年2月16日(日)に開催された第63回 囲碁大会において、榎地区の方が上位に入賞されました。(敬称略) おめでとうございます。

・Aクラス 第二位 吉成 久男 六段 柳町すみれ会資料提供

(新宿区高齢者クラブ連合会)

8 牛込弁天町町会

我が町、弁天町は町会員約一千世帯、人口三千三百人が生活し、外苑東通りと早稲田通りを挟んで広がる面積0.13km²の牛込地区では比較的大きな町の一つです。

江戸元禄時代から始まる町名の由来となった弁天堂は現在町会事務所として様々な会合や、また祭礼の折りには御神酒所として多くの町会員が集う町のシンボルとして愛されています。

弁天町では、この町に暮らす人々にとって安心安全で居心地の良い地域コミュニティの創造を目指して様々な事業を実施しています。そしてその原動力となっているのは町内に幾つかある外郭団体(有志会、青年の会、商店会、和老クラブなど)の存在です。町会と密に連携し、協力し合って事業を展開していることで、それが町の大きな特色となっています。特に毎年7月に催すファミリーフェスティバルは今年で36回目を迎える事業ですが、青年の会、商店会が企画したものを町会が全面的にバックアップし、16からなる模擬店も全て町会員家族、若者達が担うというアットホーム感満載の事業になっています。又、町内だけでなく近隣地域からも多

くの参加者が集い楽しむ町の風物詩となっています。

弁天町では新たに転入転居してきた住人へのアプローチを、一月の餅つき大会、九月の祭礼の際に積極的に行っています。参加したり見物に来ている若い家族連れに積極的に声掛けをし、まず青年の会への入会を勧め、同世代の交流を通して町会活動への理解を深め町会の加入を促しています。

最後に今後も町会の様々な事業を通して老若男女が気軽に声を掛け合い助け合える地域コミュニティの充実を図り、不測の事態に町会員一体となって対応できる町づくりをしていきたいと思っています。



「春を待つサナギ」

「腹ペコあおむし」という絵本がある。青虫がいろんなものをお腹いっぱい食べて最後はいきなりきれいな蝶々になるというお話だったと思う。けれど私はこの、いきなりきれいな蝶々になるまでが一番面白いのと思う。実はわが家の玄関には3個の蛹がきれいなアゲハ蝶になるべく羽化の時期を見計らっているのだ。2個は玄関に、そしてもう1個はドアチェーンにくっつけている。昨年の夏、私はアゲハの幼虫を捕獲して家で羽化して放すということに熱心だった。従姉が自宅で飼育できると教えてくれたのだ。小さい黒い点にしか見えない虫が脱皮して青虫になる。さらに蛹になって蝶となる。その過程のどれもが目を見張る瞬間な



のだが、特に蛹がある朝蝶になっていた!というのはまるで魔法のようだ。夏の間何匹もの蝶を羽化させ飛び立たせたが最後の3匹の青虫は夏の終わりの少し涼しくなり始めた頃蛹になった。ここで羽化しても花は少なく寒いだろうと心配したが3匹共越冬することにしようだ。

「蛹に注意!」のメモをドアノブに貼り、ドアの開閉には特に気をつけている。何しろ蛹たちは昨秋から今日もじっと頑張っているのだ。私の不注意で羽化できなかったら大変だ。これから気温も上がり暖かくなった頃、はたして無事にアゲハ蝶が現れるだろうか。本当は従姉も私も虫は大の苦手なのだけれど。 水道町 M田C子



えのき文芸

俳句



節料理ホームへ持ち込み新春祝ふ

青木 久彌

わが願い託し追儺の豆を打つ

江川 大二郎

又来ると別れに誓う墓参り

大石 代志恵

早咲きの孫のメークも桜いろ

大籠 紀子

椿咲き子の母として里帰り

加藤 千代子

白菜に振るや赤穂の塩のきら綺羅

浜井 朋子

春風がやさしく撫でる禿げ頭

滝口 泉

春疾風和服の裾にからまれる

比田井 周子

白鷺の羽染流る花筏

山口 敏子

恋猫の声すさまじや夜の屋根

持主 次郎

川柳



口達者一言多く憎まれる

泣きごとを平気で言った嫌な人

大籠 紀子

コロナなど日蝕だけにすればよい

解らないものが相手じゃ黙るだけ

菅野 あきら

無理するなと言って試合に勝てと言う

楽しみな行事中止にしたコロナ

小山 一湖

コロナ避け妻が喜ぶテレワーク

一日を二食で足りる八十路坂

田実 孜

老いて尚上がる血圧恋心

滝口 泉

短歌



バレンタイン意外に上手なお手紙に

曾孫のチョコは甘く嬉しく

青木 久彌

白梅やみとれて涙初恋の

シヨールに刺繍紅絹の花びら

大籠 紀子

大空に白木蓮の群れ咲きて

花卉を返す風に香のあり

加藤千代子

枯れ枯れのけやし並木の枝々を

疾風は揺らし春遠退ける

金成 光祥

糸と唄奏でる粋な下町の

小唄流れる隅田のほとり

滝口 泉

毛糸帽深くかむりし少年の

優しきまなこよ寒ざくら咲く

中村 道雄

下宿生荷物まとめてさよならと

桜咲く中俯き帰る

山口 敏子



広報部からのお知らせ

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供など榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句の題は『夏』、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、6月10日(水)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

T16210042
新宿区早稲田町85
TEL(3202)8585
FAX(3202)2478

榎町地域センターからのお知らせ

● 6月28日(日)に予定していた「ワンコインえのき寄席」は中止です。

● 7月26日(日)に予定していた「納涼カラオケ大会」は中止です。

● 4月～7月の

前期「健康体操教室」は、中止です。

お問合せ先

榎町地域センター

TEL(3202)8585